



文部科学省科学技術人材育成費補助金「テニュアトラック普及・定着事業」

NEWSLETTER

Vol.
13
2015.3

岡山大学 ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室

Index

平成26年度 WTT 教員研究発表会 1
 ～リケジョへの誘い～岡大方式サイエンス・
 トーク&トライアル 活動報告 2
 第Ⅴ期 WTT 教員1名着任／
 女性研究者のためのスキルアップ講座／メンタルヘルス研修 3

第4回 Family Meeting／管理職セミナー／交流サロン 4
 学会・学外活動記 5
 女性サポート相談室だより／お手軽簡単 Recipe／
 Information／編集後記 6

平成26年度 ウーマン・テニュア・トラック教員研究発表会



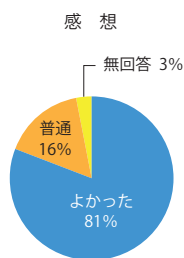
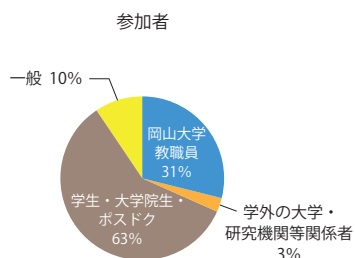
平成26年12月3日、創立五十周年記念館にて「平成26年度ウーマン・テニュア・トラック（WTT）教員研究発表会」を開催しました。研究発表会は、優秀な女性教員増加という目標達成に向け、本学で実施しているWTT教員制に関して学内外での認知度を高めるために、WTT教員が幅広い対象に対して分かりやすく研究内容の紹介を行うものです。

当日はテニュアを取得した第Ⅱ期 WTT 教員1名と、第Ⅳ期・Ⅴ期の WTT 教員4名が研究テーマの進捗状況等について報告しました。学生・院生、教員、そして学外の先生、一般の方を含めて多くの方にご参加いただき活発的な質疑応答がなされました。



発表者	研究発表タイトル
前田 恵 環境生命科学研究科（農）	花粉アレルギー結合糖鎖による免疫調節活性の解析
齋藤 光代 環境生命科学研究科（環）	淡水の輸送が駆動する“物質循環－生態系相互作用”の解明－陸～海を含む流域スケールでの試み－
池田 陽子 資源植物科学研究所	植物におけるトランスボゾン制御機構の解析
井上 麻夕里 自然科学研究科（理）	造礁サンゴの骨格成長へ及ぼす海洋酸性化の影響評価
増田 潤子 自然科学研究科（工）	がん細胞における全身免疫能への影響

アンケート結果



参加者の声

- ・異分野の方々からの質問が多数あり、大変参考になった。
- ・WTT教員の研究や様子がわかって非常によかった。

注：WTT（ウーマン・テニュア・トラック）制度とは、女性若手研究者が5年間、自立した研究者としての経験を積み、テニュア教員の採用基準に達していると評価された場合に、テニュア教員として採用される人事システム

～リケジョへの誘い～

岡大方式サイエンス・トーク&トライアル 活動報告

本学は、平成26年度独立行政法人科学技術振興機構「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」に採択されました。本事業は、女子中高生の理系への進路選択を支援することを目的としています。本学では、『～リケジョへの誘い～岡大方式サイエンス・トーク&トライアル』と題し、坂口先生を中心に出席授業や実験教室、トークショーなどを開催しました。



坂口 英 教授
(大学院環境生命
科学研究科(農))

1

岡大方式サイエンス・トライアル (第1弾)

H26年8月に理学部、工学部、農学部、医学部による実験教室を開催しました。

リケジョを目指す女子中高生及び保護者・教員ら約150名の参加をいただきました。



理 学

右か左か？どっちを選ぶ。動物行動実験をやってみよう！
(ダンゴムシの交替性転向反応)



工 学

ロビクンとパンケーキデコレーションに挑戦！



農 学

おなかの微生物を見てその素晴らしさを体験しよう



医 学

体験しよう！医学研究者の一日

2

岡大方式サイエンス・トライアル (第2弾)

10月に薬学部による実験教室を開催し、約30名の女子高校生が参加しました。参加者らは物理化学、生化学、分析学、薬



薬 学 薬学玉手箱

剤学、有機化学、生薬学の6コースのうち、1コースを体験し、研究のおもしろさを体感しました。

4

岡大方式サイエンス・トーク for ジュニア サイエンス・トーク for ハイスクール

H26年7月～H27年2月に、本学若手研究者による出席授業「サイエンス・トーク」を開催しました。福山暁の星女子中学校・高等学校、岡山龍谷高等学校、清心中学校など11校で実施し、計500名の参加をいただきました。



3

岡大方式サイエンス・トライアル (第3弾)

11月に吉本興業理系お笑い芸人黒ラブ教授を招き、サイエンストークショーを開催しました。



女子中高生、保護者・教員ら約50名が参加し、お笑い科学を融合したトークに会場は盛り上がりました。

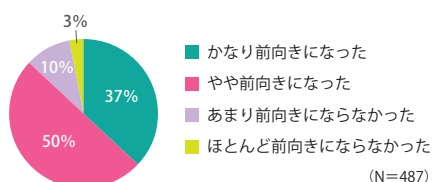
参加者の声

- ・学校では学べない実験を体験することができた。理系科目の勉強を頑張って、夢を叶えたい。
(高校3年生)
- ・実際に医療現場で行っていることが体験できてよかった。実験の時間を長くしてさらに深く学んでみたい。
(高校2年生)

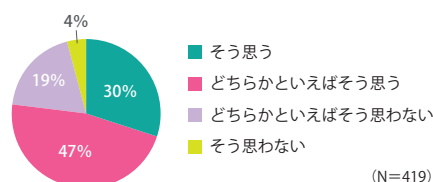
アンケート結果

約9割から理系への進学に意欲的になったと回答があり、内約8割から研究者志向に目覚めたと回答がありました。

Q. 今回の取組に参加して、理系への進学について、前向きになることができましたか？



Q. 今回の取組に参加して、科学技術に関連する職業に就きたいと思うようになりましたか？



第V期 WTT 教員1名着任 (H27.3.1)



あいざわ
相澤 さやか
清香

〔 所 属 〕 自然科学研究科 地球生命物質科学専攻 生物科学講座
〔 最終学歴 〕 埼玉大学大学院理工学研究科
〔 前 職 〕 大阪大学微生物病研究所 特任研究員

〔 研究内容 〕

わたしたちの体は、約60兆個もの細胞それぞれが連携をとることで個体として動いたり、考えたりする事ができます。さらには、光周期や温度の変化といった外部環境によっても生理現象は支配を受けています。わたしはそういった細胞から個体全体さらには外部環境までのさまざまな制御機構に興味をもち、マウスやラットの哺乳類動物を用いて生命の理解を目指しています。特に内分泌、ホルモンによる制御、そして光周期の影響などを研究しています。

〔 WTT 教員になったの抱負 〕

私は生命現象の不思議に魅了されて研究の分野を進んできました。高校生の時に生物の授業で、「ホルモン」という物質に自分の思考や行動が制御を受けている事を知り、衝撃を受けたのをいまでも覚えています。これからは学生さんを含め多くの方に、生物って不思議だ！研究っておもしろい！と思っていただけるような仕事ができるよう励んでいきます。どうぞよろしくお願いします。

〔 女性研究者のためのスキルアップ講座 〕

開催日 H26年8月29日（金）

講師 有澤 恒夫 教授（若手研究者キャリア支援センター）/
石田 奈々 氏（資生堂）

共催 岡山大学若手研究者キャリア支援センター・
医療人キャリアセンター MUSCAT



有澤 恒夫 教授
（若手研究者キャリア支援センター）

Report 1

平成26年度第1回目研究スキルアップ講座は、プレゼンテーションのコツと効果的なセルフプロデュース力を学ぶことを目的に開催しました。

前半は、若手研究者キャリア支援センター教授の有澤先生より、「心に響くプレゼンテーション」と題し、研究者として効果的に研究発表をするためのコツをお話いただきました。後半は、資生堂の石田様より女性研究者として発表するための「見せ方」のコツを実習を交えて教えていただきました。どちらも参加者らは、熱心に聞き入り、終了後には多くの質問が寄せられました。



〔 メンタルヘルス研修 〕

いまだき部下・学生との繋がり方～「原子価論」からみる教育的関係～

開催日 H26年9月16日（火）

講師 MED HAFSI 教授（奈良大学 社会学部）

共催 医療人キャリアセンター MUSCAT

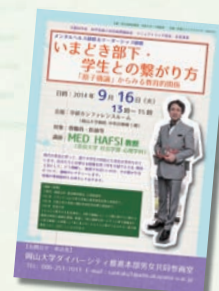


MED HAFSI 教授
（奈良大学 社会学部）

Report 2

女性サポート相談室が主催する第3回目のメンタルヘルス研修を実施しました。
奈良大学の MED HAFSI 教授をお招きし、今年は鹿田地区で開催しました。

研修の前半は、人と人との繋がり方に関する理論である「原子価論」について説明いただきました。その後、フロアからは、この原子価理論そのものに関する質問が多く、どのように個人の原子価構造が決定されるのかといった発達に関する質問や、身体的な病気との関連などについて活発的なディスカッションが行われました。参加者からは、非常に有意義だったと感想が寄せられました。



[第4回 Family Meeting]

開催日 H26年11月29日（土）

講師 ボーネルンド プレイリーダー



Report 3

今回は、学外へと場所を移し、クレド岡山にあるボーネルンドにて、「Family Meeting」を開催しました。小さなお子さんのいる教職員家族を対象にした Family Meeting も今回で4回目、これまでに最も多い90名近い方にご参加いただきました。

土曜日の朝早くにもかかわらず、元気いっぱい子どもたち。ボーネルンドのプレイリーダーのお兄さん、お姉さんと、パパ、ママと一緒に体いっぱい遊びました。パパとママたちには、最近の子どもが遊ぶ場所が少なくなり、体の発達にも影響がでていることを資料を交えてレクチャーいただき、体を動かすことの大切さを再認識しました。アンケートでは、「もう一度同じ場所でFMをしてほしい！」「今回のような子どもと一緒に体験できるイベントをしてほしい」と数多くの要望が寄せられました。



[管理職セミナー]

開催日 H26年12月17日（水）

講師 斎藤 悦子 准教授（お茶の水女子大学 生活科学部）



Report 4

男女共同参画に関する「管理職セミナー」は、管理職員の男女共同参画に関する知識の向上と意識の改革を目指して実施しており、今年で5回目となります。

今回のセミナーでは、本学 SGU の項目の1つとして挙げられている WEPs * の承認を受けたお茶の水女子大学のその後の取組みについて御講演いただきました。

* WEPs とは、女性のエンパワーメント原則（Women's Empowerment Principles）の略称で、国連と企業の自主的な盟約の枠組みである国連グローバル・コンパクト（GC）と国連婦人開発基金（UN Women）が共同で作成した7つの原則です。その目的は、企業における女性の活躍の推進です。



[交流サロン]

アカデミックキャリアへの挑戦

開催日 H27年1月10日（土）

講師 山本 洋子 教授（所長）／平山 隆志 教授（副所長）（岡山大学 資源植物科学研究所）

共催 岡山大学若手研究者キャリア支援センター



Report 5

今年度の交流サロンでは、アカデミアを目指す学生および大学院生を対象に開催し、教職員、一般の参加を含めて20名余りが参加しました。講師である資源植物科学研究所長の山本洋子先生と、副所長の平山 隆志先生に、ご自身のキャリアの歩みの紹介とともに、さまざまな経験、ご苦労、やり甲斐をお話いただきました。

山本先生は、ご自身だけでなく、パートナーも研究者であることによって生じたご苦労とその喜びについてお話くださいました。平山先生は、現状データに基づいて博士号取得者の就職状況と社会とのニーズのミスマッチなど問題点を説明された上で、どうしたらアカデミアの道が開けるのか、そのための課題を指摘されました。

岡先生の話の後、参加者の1人で、ポスドクとして国内外の研究所や大学に勤務したあと、子育てのために現在、研究を中断しているという女性から、どのように自分の研究と公募先の分野をつなげたら良いのか、といった質問がだされました。平山先生からは、それをつなげることは、自分の研究の可能性を考えるきっかけになることなので、ぜひ前向きに考えてほしいとアドバイスがありました。当日は、時間を越えて次々と質問が出され、活発的な意見交換がなされました。



【帰国カルチャーショックを経てのフランス再訪など】

第Ⅳ期 WTT 教員 池田 陽子

フランスでのポストドク生活の後、倉敷資源植物科学研究所に着任して早1年、すっかり岡山での研究生活に慣れました。しかしながら、自分でも驚いたのですが、帰国直後は、人との距離感や、生活スタイルなど、日本の生活に戸惑いを感じました。知らず知らずのうちにフランスの生活に馴染んでいたようです。

昨年8月末から9月上旬にかけて、再びフランスを訪問する機会に恵まれました。パリで行われたFEBS-EMBO conferenceに参加し、その後、留学先であったクレルモンフェランに5日間ほど滞在し、執筆中の論文や、共同研究の内容について綿密にディスカッションしてきました。今回参加した学会は、ヨーロッパの生化学会及び分子生物学会合同の会といった位置づけで、日本人の参加は比較的少なかったのですが、ヨーロッパでの最新の研究成果の発表を聞くことが出来ました。また、自分の研究内容を発表し、貴重なアドバイスをもらうことが出来ました。そしてやはりフランス、プログラムも余裕を持って組んであり、空き時間を利用して、研究について様々なことを考え、自分のアイデアをブラッシュアップすることが出来ました。いろいろな意味で、良い刺激になりました。

10月以降も、新しく立ち上げたゼミゴケを用いた研究に関する国際ワークショップへの参加、研究所ワークショップ（植物エビジェネティクス）のオーガナイズ等、精力的に活動した1年となりました。

連載

学会・学外活動記

06

MINICOLUMN



留学先再訪時の技官定年祝いパーティーにて。



研究所ワークショップの趣旨説明

【ドイツでの共同研究】

第Ⅴ期 WTT 教員 井上 麻夕里

平成26年4月より大学院自然科学研究科（理学部・地球科学科）においてサンゴ試料を用いた古気候・古海洋学の研究を行っています。岡山大学に赴任する前からドイツ・ミュンスター大学のNikolaus Gussone博士と共同研究を行っていますが、去年の8月には約1ヶ月ミュンスターに滞在して、サンゴ試料のカルシウム同位体測定を行うと同時に、これまでのデータの論文化も進めることができました。8月といっても去年のドイツはとても寒くて、毎朝ジャケットを着込んでバスで通学していました。ミュンスターは聞き馴染みがない街かもしれませんが、日本人が多く住むデュッセルドルフに電車で1時間くらいと近く、自転車がかとにかく多い街です。でもとても生活しやすく、岡山に似ているなあと密かに思っています。カルシウムの同位体測定はまだ日本ではあまり普及していない手法でもありますので、Nikolausにまだまだ色々と教えてもらいながら、自分はもちろんのこと、後輩や学生達の研究にも生かしていきたいと思っています。



Nikolaus 一家と近くの湖に散策に来たとき。寒かった。。。。

連載

学会・学外活動記

07

MINICOLUMN

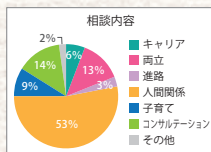
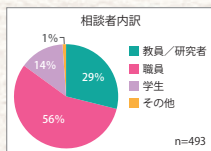


毎週土曜日には市場が開かれ、地元の花や野菜、果物などが並びます。

女性サポート

相談室だより

相談室が開室したのは、平成22年の1月でした。早、5年が経ち、6年目を迎えます。この間に、約500名（H27年1月現在）の方にご利用いただきました。利用者の内訳は、教員が29%、職員56%、学生14%でした。相談内容のもっとも多かったのは、「人間関係（パートナー、職場の上司部下同僚などを含む）」に関するものでした。公的にも私的にも身近にいる人と、どのように付き合い、理解し、対応したらいいのか、そうした内容の相談が53%でした。仕事量の多さのせいか、ここに余裕を持ちにくい時代となりました。そうした中で、人間関係にも十分配慮しにくくなったのかもしれませんが、よりよい人間関係作りのために、時にこうした相談室を活用いただければ幸いです。



相談はこちらへ

● メールアドレス：support-w@adm.okayama-u.ac.jp

● 電話番号（代表）：086-251-7011

Recipe

お手軽 簡単

第2回
昆布炒め煮

包丁もいらない、
超簡単レシピです！

お魚コーナーの片隅に、お値打ち価格で「生昆布」が置いてあるのを見かけませんか？

今回は、その「生昆布」を使って、簡単に栄養満点のレシピを紹介します。



【材料】 2～3人分

生昆布 1パック

（なければ、生ワカメや茎昆布などでも出来ますよ）

まぐろ味付け缶詰 1缶（約70g）

A：みりん 大1、酒 大1、醤油 大2/3

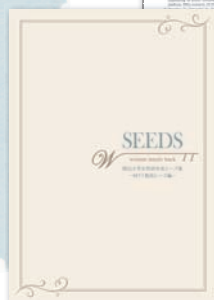
- ① 鍋に薄く油を入れ、生昆布をさっと炒める。
- ② 缶詰からまぐろを取り出して、さらに炒める。
- ③ Aを入れて、昆布が柔らかくなるまで煮込んだら出来上がり。

* ご飯がすすむ、一品です。お酒のおつまみにも good!



Information

ウーマン・テニユア・トラック制度において採用された先生方は、16名となりました。男女共同参画室では、WTT 教員の研究内容について、学内外の研究者の方に幅広く知っていただくために、「岡山大学女性研究者シーズ集」を発行する予定です。本誌が、共同研究の芽になればと期待しておりますので、ご関心のある方は、ぜひお問い合わせください。



編集後記

約5年間、男女共同参画室の室員として様々な事業を推進していただきました、環境生命科学研究科（農）の坂口 英 教授が、平成27年3月でご退職されることとなりました。

本室では、p2に記載がありますようにリケジョ増加のための取組の一環として、高等学校へ出向いて出張講義を行う「サイエンス・トーク」を数年来実施しております。今年度はそれに加え、女子中高生や保護者・教員を対象に、理系の研究施設の見学や実験を行う、「サイエンス・トライアル」も開催いたしました。重要な取組である一方、労力のかかる企画でしたが、坂口先生の献身的な働きによりすべて円滑に運営・実施することができました。また、WTT 教員の選考・評価、男女共同参画室の教養授業にも大変ご尽力いただき、先生なくしてどれも進めることはできませんでした。この場を通して、室員一同、坂口先生への感謝と御礼を申し上げます。

お問い合わせ

国立大学法人 岡山大学
ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室

〒700-8530
岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号
TEL：086-251-7011 FAX：086-251-7033
Email:sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp
http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/diversity/danjo

